

# 令和2年度校内研究の概要

## 1. 研究主題

子どもと向き合う時間を確保し、学びの質を向上させていく教育課程の在り方  
～学校と子どもの実態に即したカリキュラム・マネジメントの実践的研究を通して～

## 2. 主題設定の理由

### (1) 今日の研究課題

近年、情報化やグローバル化といった社会的変化が、人間の予測を超えて進展するようになってきている。人工知能が進化する一方で、人間は目的に応じて必要な情報を見いだしたり、自分の考えを相手に表現したりすることができる強みを持っている。これからの時代を生き抜いていく子どもたち一人一人は予測できない変化に対して、主体的に向き合い、関わり合い、問題を解決していく力が必要となってくる。新学習指導要領では、そのような背景から、これまで以上に子どもたちの資質・能力の育成や、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を目指すことが明確になった。

また、急激な少子高齢化が進行し、グローバル化の進展に伴う国際競争が激化する中で、これからの時代を生き抜く子どもたちには、新たな価値を創造し国際的に活躍できることや、多様な文化や価値観を受容し共生していくことが求められていくことを見据えて、小学校では、2020年度から、中学年において外国語活動が、高学年において教科として外国語科が導入されることとなった。各学校現場では、この年間35単位時間の授業時数の増加にどのように対応していくか、ということが喫緊の課題となった。また、外国語教育だけにとどまらず、いじめ等の問題行動の発生、特別な支援を必要とする児童数の増加、不登校児童への対応など、私たち教員を取り巻く環境は複雑化・困難化するとともに、学校に求められる役割は拡大・多様化しており、保護者への対応、通学路の安全確保、地域活動などへの対応も求められている。そのような環境の中で、授業準備・教材研究、個別指導の時間といった教員が子どもと向き合える時間を十分に確保することは難しくなっている。

### (2) カリキュラム・マネジメントの観点

小学校におけるカリキュラム・マネジメントの在り方に関する検討会議報告書では、「各小学校では現在でも、学習指導要領に定められた内容を踏まえながら、児童の生活時間及び教員の指導時間をどのように効果的に配分し、児童の生活や学びの質を高めていくかについて創意工夫を凝らした取組が重ねられているところである。今後とも、年間35単位時間増となる中学年及び高学年の時間割の編成や、児童の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた時間割の工夫といった新たな課題に、教育委員会や地域の校長会等と連携して応えながら、カリキュラム・マネジメントの中で、こうした創意工夫を継続していくことが求められている。」と示されている。先に述べた今日的教育課題と照らし合わせてみても、児童の生活時間や教員の指導時間について検討していく必要があると考えられる。

### (3) 山梨県学校教育指導重点から

山梨県学校教育指導重点では、「『生きる力』を育む質の高い教育の実現」を基本目標の一つとし、バランスのとれた知・徳・体の育成を図っている。学びの質をより高め、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育成していくためには、今一度、これまでの教育課程を振り返り、よりよいものへと整備していくことが大切である。

### (4) 甲府市学校教育指導重点から

甲府市学校教育指導目標は「豊かな感性とたくましい行動力を持ち、互いの良さを認め合いながら、進んで自己の課題に取り組むことのできる、心身共に健康な児童生徒の育成を目指す。」となっている。近年の社会の激しい変化の中で、児童が「豊かな人間性」を持ち、感性を高めながら主体的に学習に取り組めるようにするためには、これまでの教育実践を再検討し、新たな発想と工夫を加えた教

育課程を編成していくことが必要であると考えられる。

(5) 学校教育目標から

本校の学校教育目標は以下のとおりである。

1	学校教育目標	「知・徳・体」の調和のとれた児童の育成を図り，児童一人一人のよさや可能性を伸ばす。
2	めざす子ども像	
	○心豊かな子	すなおで明るい子ども 思いやりのある子ども (思いやり・感謝・情操)
	○考え深い子	進んで学習する子ども 精一杯努力する子ども (創造・思考・意欲・実践)
	○たくましい子	心身ともに健康な子ども 最後までやりぬく子ども (健康・安全・気力・忍耐)
	○力を合わせる子	互いのよさを認める子ども 協力する子ども (自立・責任・協力)
3	学校経営の基本方針	
		「調和と統一のとれた学校経営，創意に満ちた教育活動」
	(1)	21世紀を生きる児童が，自ら学び自ら考え，判断し行動することができる実行力と，たくましく生きる力や思い遣る心を身につけることができる，教育課程の編成と実施に努める。
	(2)	学校教育目標の具現化の基盤は安定した学級経営，協調しあう学年経営の充実にある。「認め合う 励まし合う 学び高め合う 喜び合う」中でよりよい人間関係を育て，児童が安心して自分の想い・考えを素直に実現できたり，意欲的に学ぶことができたりする楽しい学校づくりに努める。
	(3)	憲法並びに教育基本法の理念を守り，学習指導要領の基本方針及び，県・市の学校教育指導重点を受け，保護者，地域社会の人々と連携を図るとともに，信頼される学校教育の推進に努める。
	(4)	児童にとって学ぶ意欲と豊かな感性を育てる教育環境と清潔で安心・安全な活動環境の整備・充実に努める。

「知・徳・体」の調和のとれた児童を育成するために，児童にとって学ぶ意欲と豊かな感性を育てる教育環境を整備し，児童一人一人のよさや可能性を伸ばす教育課程の編成をしていかなければならない。

今年度の研究では，昨年度の研究の成果と課題をもとに，「教員の子どもと向き合う時間の確保」という観点から，さらに研究を深め，より具体的に学びの質を向上させる教育課程の在り方について考えていく。

これらのことから，今年度の主題・副主題を上記のように設定した。

### 3. 研究目標

学校全体において，限りある資源である「時間」をどのように教育内容と効果的に組み合わせているのか，子どもたちと向き合う時間を確保するために望ましい教育課程とは何かを実践を通して明らかにする。

## 4. 研究内容

---

### (1) 日課時程の検討について

- ・昨年度の試行から出された課題について改善案を検討し、実施していく。  
例として朝の会のもち方の工夫、体育着登校、委員会活動 等々
- ・2学期において午前5時間制を実施し、成果と課題を出し、よりよい日課時程について考察していく。
- ・児童の事前、事後アンケート実施、集計
- ・教員へのアンケート実施

### (2) 子どもと向き合う時間を確保するための業務改善について

- ・行事等の行い方について見直し、学校内の連携や指導方法を検討し、取組内容の再構築をする。
- ・一部教科担任制の実施（4年・5年・6年）
- ・指導主事を招聘し、業務改善の視点について研修会
- ・業務改善アドバイザー（文部科学省の事業）の方から助言をいただく。
- ・各学年、すみれ、教務ごとに業務の効率化について検討し、他の教職員に提案していく。

## 5. H31 年度の研究について

---

研究の1年次では、子どもの学びの質を高める教育課程について焦点を当て、子どもたちの生活の基盤となる日課時程について検討を重ね、午前5時間制日課を試行した。また、一部教科担任制や行事等の行い方について課題についても実施や検討を行った。

### (1) 日課時程の検討について

県外の研究指定校等の日課時程をもとに、本校ではどのような日課時程がふさわしいのか検討を積み重ねた。一つ一つの活動の意義について改めて考え直し、教職員の共通理解を図った。午前5時間制日課を2回実施し、①授業時数の確保、②生活習慣の確立、③児童・教員にとってのゆとりの時間の創出、といったいくつかのメリットが出された。児童からのアンケートでは、8割以上の児童から午前5時間制日課に対して前向きな回答が得られた。しかし、昨年度は試行段階であり新たな日課時程を「全校一丸となってまずは試行してみよう」というコンセプトで研究を進めてきた。今後も午前5時間制について、さらに成果や課題を洗い出し、課題に対する改善策について検討を行い、よりよい日課時程について追及していきたいと考える。

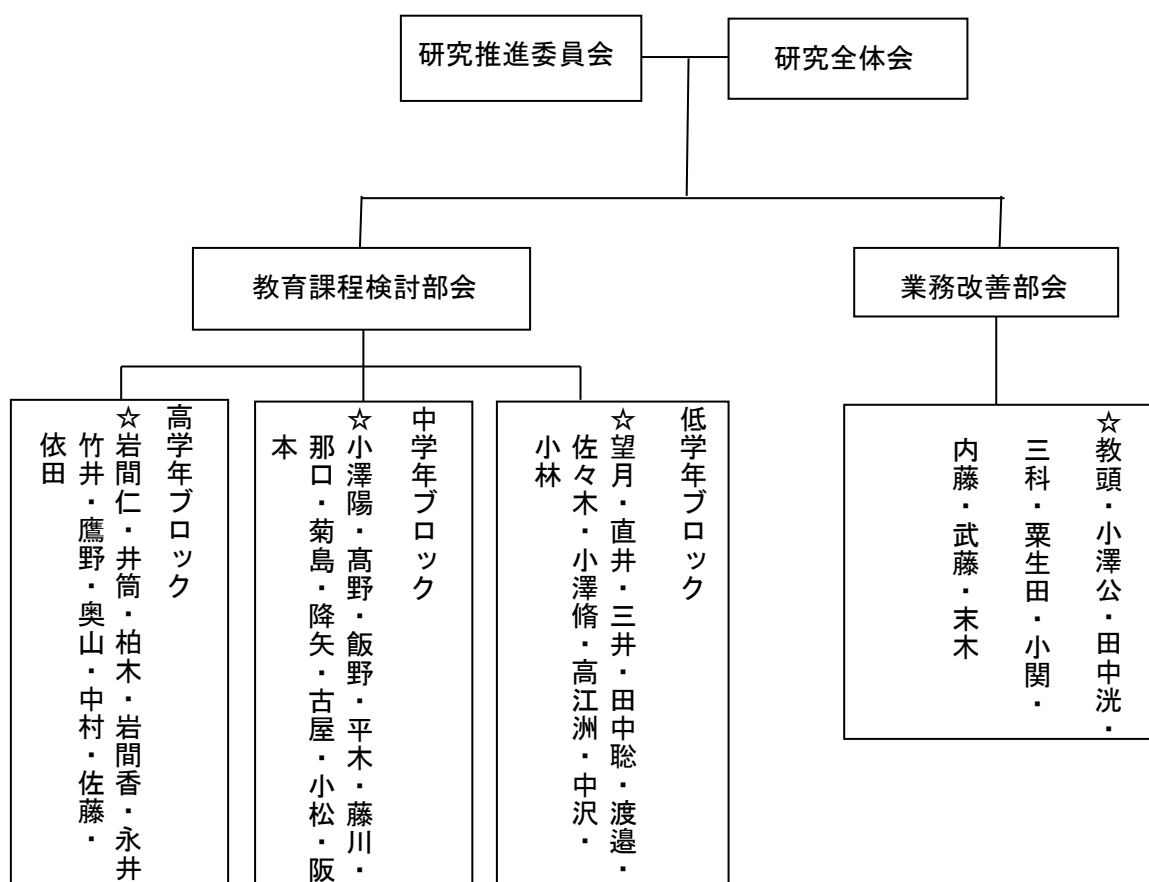
### (2) 一部教科担任制について

中・高学年を中心に、一部教科担任制を行った。学年3・4クラスある中で、様々な学級の児童の実態や雰囲気を知ることができ、学年の指導の際にも役に立った。また、教員の教材研究の量や時間が縮小し、業務改善にもつながったという教員の実感が得られた。さらに、一人の教員が同じ授業を積み重ねることで指導方法の改善ができ、教師の指導力向上にもつながるのではないかと考えられる。

### (3) 行事の取組の検討について

これまで行ってきた行事等を振り返り、課題に思うことについて話し合った。KJ法で意見を出し合い、様々な考えを集めた。昨年度は課題を出し合うことのみ行ったので、それらの意見をもとに引き続き検討していく必要がある。

## 6. 研究組織



## 7. 研究計画

研究会名	開催日	主な形態	主な研究・活動内容
第1回校内研究会	4 / 15	全体研	○今年度の研究について ・研究の概要（研究主題，副主題，研究計画，研究組織等）
第2回校内研究会	5 / 25	全体研	○午前5時間制の日課時程について検討会 ・行事等の取組について検討
第3回校内研究会	6 / 22	学習会	○業務改善の視点について研修会 （指導主事招聘）
第4回校内研究会	7 / 13	全体研	○午前5時間制の日課時程について ・事前アンケートについて
第5回校内研究会	7 / 22	ブロック	○業務改善の視点について検討会

			・行事等，業務に関して
第6回校内研究会	8 / 19	全体研	○午前5時間制の日課時程について確認・検討 ・研修還流報告
第7回校内研究会	10 / 5	ブロック 全体研	○成果と課題について ・改善点について検討
第8回校内研究会	11 / 11	全体研	○拡大校内研究会について ・研究会の内容等について
拡大校内研究会	11 / 12		○研究発表，グループ協議
第9回校内研究会	12 / 23	全体研	○来年度の方向性について
第10回校内研究会	1 / 18	全体研	○研究紀要について ・保護者への文書配布
第11回校内研究会	2 / 17	全体研	○研究のまとめ